

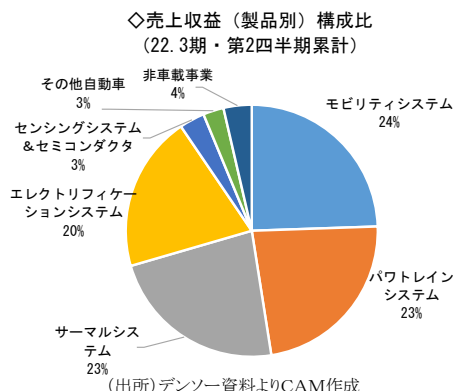
企業ニュース デンソー

(東証1部：6902) <https://www.denso.com/jp/ja/>

作成者：奥村義弘

自動車の電動化時代をリードする

1949年設立。パワトレイン、熱機器、電子、情報通信機器など幅広い製品分野を展開する自動車部品メーカー。xEV（電動車両）やADAS（高度運転支援システム）の普及で、インバータ、バッテリーECU（電子制御装置）、モジュールジェネレーターなど電動パワトレインの基幹部品への成長期待が高い。他にもバッテリー監視モニターや空調ヒートポンプなど多くのxEV関連技術を有する。22.3期・第2四半期累計の地域セグメント別売上収益構成比は日本44%、北米22%、欧州9%、アジア24%、その他1%。成長目標として26.3期に売上収益7兆円、営業利益率10%を掲げる。



電動化の進展で中長期の成長期待高まる

22.3期・第2四半期累計（4-9月）の連結業績は売上収益が2兆5,829億円、前年同期比24%増、営業利益が1,593億円（前年同期は営業赤字696億円）。半導体不足などによる車両減産の影響はあったが、新型コロナウイルス感染症影響からの回復と、為替の円安推移、固定費低減・合理化努力などにより、素材価格の上昇などを吸収し、増収・増益となった。会社側では四半期で営業利益1,300億円を出せる体質が構築できたとしている。

22.3期通期の会社計画は売上収益が5兆5,400億円、前期比12%増、営業利益が4,400億円、同184%増。前提為替レートは、ドル107.4円、ユーロ127.9円。半導体不足の長期化など外部環境が不透明で、車両生産台数の前提を引き下げたが、変動対応力の強化や採算改善の積み増しで、前回計画を据え置いた。なお、年間配当予想を前回公表の140円から160円に増額修正した。また、電動化の進展・多様化で、2025年に向けたインバータの受注台数を従来の800~900万台から1,200万台へと上方修正した。内訳ではBEV（純電気自動車）の引き合いが強まっている。収益体質の強化も進めており、中計目標の営業利益率10%は前倒し達成する可能性が高まっている。

[株価動向・投資判断]

短期的には自動車の生産回復の動きを注視したいが、中長期でのビジネス拡大が期待できる決算内容でポジティブ。増配の発表も会社の経営のかじ取りへの自信を示すものと言えよう。

<6902 デンソー 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

| | 売上収益 百万円 (伸び率) | 営業利益 百万円 (伸び率) | 税引前利益 百万円 (伸び率) | 当期利益 百万円 (伸び率) | 1株利益 円 | 1株配当 円 |
|--------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-----------|-----------|
| 20.3 | 5,153,476 (▲4) | 61,078 (▲81) | 89,631 (▲75) | 68,099 (▲73) | 87.9 | 140.00 |
| 21.3 | 4,936,725 (▲4) | 155,107 (▲154) | 193,753 (▲116) | 125,055 (▲84) | 161.4 | 140.00 |
| 22.3 予 | 5,540,000 (▲12) | 440,000 (▲184) | 481,000 (▲148) | 336,000 (▲169) | 436.2 | 160.00 |



| [主要株価指標] (売買単位：100株) | |
|-------------------------------|-------------------|
| 株価 (2021/11/5) | 8,144 円 |
| 年初来高値 (高値日) | 8,513 円 (21/11/1) |
| 同 安値 (安値日) | 5,700 円 (21/1/15) |
| 予想 P E R (22.3 予) | 18.7 倍 |
| 1株株主資本 (PBR算出用) | 5,240.6 円 |
| P B R | 1.55 倍 |
| 予想配当利回り (1株当たり配当金年160.00円) | 1.96 % |
| R O E (21.3) | 3.4 % |
| 発行済み株式数 | 78,794 万株 |